

林野庁長官賞

気仙スギの高次加工で、川上から川下まで一貫した流通体制を構築する

—流域の一貫体制確立・産地間競争で有利に—

けせんプレカット事業協同組合（理事長 鈴木忠四郎）

□事業体の構成

103名（2市2町森林組合、製材関係者6、大工・工務店40、建築業36、その他7）

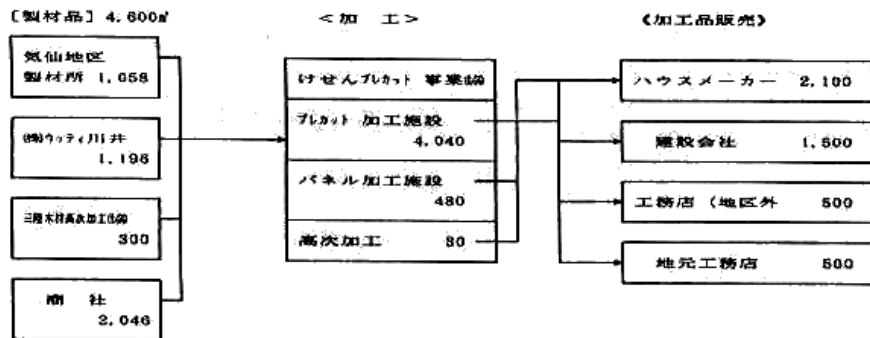
〒029-2311

岩手県気仙郡住田町世田米字世田米市谷27-2

TEL 0192-46-2757 FAX 0192-46-2882



□事業の仕組み



1. 地域の概要

住田町は岩手県東南部に位置する山村で、町の総面積335km²の90%が森林である。町の基幹産業は自然と一体となった農林業であり、独自の集約的複合経営の「住田型農業」、生産、流通、加工まで地域林業のシステム化を図る「住田型林業」を実践している。町の森林面積30,239haの73%が民有林、27%が国有林であり、人工林率54%は県平均の44%を大幅に上回っている。人工林の中でスギの割合は62%と多くを占めてい

る。

また、周辺2市2町を合わせた総面積890km²の85%が森林であり、人工林率は55%となっており、やはり県平均を大きく上回っている。このことは、「気仙大工」に代表される伝統技術を育む環境を形成し、気仙スギの利用が古くから続けられている要因ともなっている。さらに、従来からの軸組工法と最新の集成材・プレカットによる建築工法の両者が並立する特異な地域でもある。

2. 事業内容等

1. 事業の目的

地域の成熟しつつある森林資源の利用拡大と高付加価値化を図り、森林の造成から伐採、加工利用に至る地域林業の総合的システム化を目指す。

2. 事業の内容

地元製材所から納入されるスギを始め各種材料をコンピューター操作により、工務店からの注文に応じて、プレカットし納入している。さらに、材料の納入だけではなく多種多様な要請に応える体制を取っているほか軸組の組み立てまでも行えるようにしている。

また、平成10年度にはパネル製作ラインを増設し、住宅部材の中の構造に関する製品を加工・製造することが可能になった。

平成6年度は223棟、248百万円の生産実績であったが、ここ数年の木材不況にかかわらず従業員の努力により平成10年度には400棟、416百万円と右肩上がりの生産実績となっている。また、月産にすると30棟を超える生産を順調に継続している。

主な販売先は、仙台周辺、大船渡管内、盛岡・北上周辺となっている。

3. 施設の整備状況

「プレカット加工施設」

作業用建物（1棟1,495 m²）、製品保管倉庫（2棟880 m²）、管理棟（1棟172 m²）、加工機械一式種類（横架材加工ライン、柱材加工ライン、単独加工ライン、自動柱芯引き装置）乾燥機（2基）等

4. 事業の実績

別表のとおり。

5. 事業の成果

気仙地方は、古くから気仙スギの産地化、気仙材の銘柄化を重要課題として取り上げ、県内でも最初に流域全体の林業振興を検討する「気仙川流域活性化センター」を設置している。川上から川下への体制整備を検討してきている。平成8年には、大船渡管内

(大船渡市・陸前高田市・三陸町)と釜石市・大槌町をも含めた流域内の豊富な森林資源を活用するために、活性化センターの区域を拡大し、流域内関係者が協議を重ね、高付加価値を進める施設の整備が進められてきた。この中で、川下対策として中小径材の加工を担う「気仙木材加工協同組合連合会」、集成材加工の「三陸木材高次加工協同組合」が順次整備され、住宅関連の部材のプレカットを担う「けせんプレカット事業協同組合」の果たさなければならない役割は大きなものとなっている。

木材を大量に使用する住宅建築において、部材の大部分をこの地域内で生産されるスギを使い、一貫生産できることになり、製品の品質管理から建築までの責任施工が可能になることから、銘柄化を進め産地間競争を一層有利に戦える要因になると思われる。

事業のさらなる展開は、地元雇用だけでなく関連産業の振興、最終的には川上から川下まで一貫した林業の活性化を促すものになる。

6. 今後の取組み

これまでに整備された「プレカット」「パネル加工」「高次加工（造作材）」とライン化した加工施設を十分に活かして、現在1,500坪／月の加工体制を1～2年後は2,000坪／月まで強化していきたい。

更には、「造作材の加工」と「プレカットと金具の組み合わせによる工法」を導入（1～2年以内）したいと考えている。

このことにより多種多様な住宅部材の生産を可能にし、より良い部材を安定的に供給することが可能になる。この結果、工務店、ハウスメーカー等関係業者との強固な信頼関係を確立し、川上から川下へと安定した製品の流れが出来るよう、そして「大槌・気仙川流域」の林業がより活性化されていくように努力していくことにしている。

(別表)

4 事業の実績

種別	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度 (目標)
プレカット加工	223棟	294棟	400棟	401棟	400棟	410棟 (目標)
パネル制作						125棟